

中医協 総-1-6
19.5.16

平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る調査
歯科診療における文書提供に対する患者意識調査
報 告 書

目 次

1. 目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査項目.....	2
5. 結果.....	3
(1) 回収の状況	3
(2) 施設の状況（平成18年11月）	4
(3) 文書提供患者数および文書作成に係る時間数	9
(4) 文書の作成方法	12
(5) 文書提供による診療への影響	14
(6) 歯科医師の立場から見た文書提供を受けた患者の主な反応	17
(7) 患者の状況（患者調査より）	21
6. まとめ.....	33
7. 調査票.....	34

1. 目的

歯科医師の文書作成にかかる時間等の実態を把握するとともに、患者に対する文書提供によるきめ細かい情報提供の効果および患者の満足度等を把握することを目的とした。

2. 調査対象

本調査においては、施設調査と患者調査を実施した。

施設調査の対象は、全国の歯科診療所から無作為抽出（都道府県別に層化）した 1,000 施設、全国の歯科関連の診療科を標榜する病院から無作為抽出（単純無作為抽出）した 129 施設¹、および全国の歯科大学・大学歯学部附属病院の全数（32 施設）を調査対象とした。なお、歯科診療所については「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査対象と同一である。

患者調査では、A健康保険組合において平成 18 年 9 月に歯科医療機関を受診した経験のある被保険者本人の中から 5,000 名を無作為に抽出し、調査対象とした。

3. 調査方法

施設調査、患者調査ともに、自記式調査票の郵送配布・郵送回収とした。

施設調査では、施設属性項目および文書提供関連項目（患者数、時間数等）を調査した。文書提供関連項目のうち、患者数、時間数等については、平成 18 年 11 月 15 日～21 日の 1 週間の状況をプロスペクティブ（前向き）に調査した。なお、診療所については本調査の調査票と「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」調査票を同封して配布した。

また、歯科大学・大学歯学部附属病院においては、所属する歯科医師数が多いことから、施設属性項目票と文書提供関連項目票とに分割し、前者については事務部門が記入、後者については歯科医師が記入するものとした。文書提供関連項目票については、各大学病院に調査票を 10 枚配布し、患者に文書提供を行う頻度の高い、歯周病治療または歯科補綴治療に従事している歯科医師が記入するものとした。

患者調査については、ご協力いただいた A 健康保険組合の封筒に封入し、A 保険組合名で調査協力を依頼する文書を同封して、配布した。

調査実施時期は、施設調査は平成 18 年 11 月、患者調査は平成 18 年 12 月とした。

¹ 病院歯科は少ないため、抽出率は診療所の抽出率の 5 倍とした。

4. 調査項目

施設調査については、施設属性項目と文書提供関連項目を調査した。詳細は以下のとおりである。

図表 1 調査項目（施設調査）

区分	調査項目
施設属性項目	開設主体、医療機関種別、標榜診療科、職員数（歯科医師、歯科衛生士、受付秘書・歯科助手）、届出施設基準
文書提供関連項目	<ul style="list-style-type: none">・ 1日あたり総患者数（初診・再診）・ 1日あたり文書を作成して提供した総患者数・ 1日あたり総診療時間数・ 1日あたり文書作成に費やした時間数・ 文書作成方法、文書提供による診療への影響・ 歯科医師の立場から見た患者満足度・理解度の変化等

患者調査については、文書提供を受けた患者の満足度を把握するため、以下の項目を調査した。

図表 2 調査項目（患者調査）

区分	調査項目
患者属性項目	<ul style="list-style-type: none">・ 性別・年齢・ 受診医療機関（所在地、種類）、受診理由
文書提供関連項目	<ul style="list-style-type: none">・ 文書提供の有無、文書の内容、わかりやすさ・ 文書提供に対する満足度・ 今後も文書をもらいたいかな